

水道事業会計状況調書

当市の水道事業を取り巻く環境は、長引く景気の低迷や人口の減少などの影響により、給水量が年々落ち込んでいる状況にあります。本年度においても、社会・経済情勢の好転は望めず、依然として厳しい水道経営を強いられるものと考えます。

水道事業に課せられた使命である、安全で良質な水道水を安定的に供給するため、今後においても、引き続き、浄水場の整備及び老朽配水管の更新などの施設整備を行い、より一層、信頼性の高い水道システムの構築を目指します。

本年度の施設整備は、柏木配水池建設事業（継続事業）として、本体部分の完成に伴う電気計装等の附属設備の工事を行い、本年度中に本格稼働の予定となっています。これにより、水需要の変動を調整する機能の強化、一部地区の低水圧の解消及び災害その他非常時の給水の安定性の確保が図られることとなります。

さらに、千歳ポンプ場建替事業及び老朽配水管の更新などの整備を行います。

1 業務の予定量

項 目		平成15年度	平成14年度
給 水 戸 数 (戸)		21,467	21,334
年 間 給 水 量 (m ³)		4,532,000	4,655,000
一 日 平 均 給 水 量 (m ³)		12,383	12,753
主 要 な 建 設 改 良 事 業 (千円)		573,365	675,151
内	送配水施設整備事業 (千円)	473,279	590,305
訳	設 備 事 業 (千円)	100,086	84,846

2 主要事業等

詳細は、次ページ以降に記載